

広報

やすらぎ

No.127 令和7年3月15日発行



西和賀町の真冬のイベントである「雪あかり」の開催を間近に控えた2月7日、沢内中学校1、2年生による雪像作りが行なわれました。天候は時々吹きつける強風で手足がかじかむ状況でしたが、2年生は中庭にヘビをモチーフにした雪像を、1年生は施設につながる道路脇に雪灯籠でデザインした作品を、寒さを吹き飛ばすような笑顔で制作してくれました。特に中庭に除雪機で積み上げた雪山は近年では見たことがない高さになり登るのもやっと…。そんな中でも窓の内側から眺める利用者に手を振って応えてくれる姿が印象的でした。少しずつ削ったリスプレーで色付けし、ユニークでかわいい雪像が完成。1年生も大きなハート型やタワー型など感性豊かに仕上げていき、最後に作品の前で学年ごとに記念撮影をして終了です。寒いけどあったかい、窓越しのふれあいのひと時でした。

鬼は外!! 福は内!! 節分行事

今年の節分は2月2日、なんです。がぶなの園では例年通り2月3日に豆まきを行ないました。赤鬼と青鬼に扮した職員が金棒を振り回しながら出てくると、両手に持っていた落花生や甘納豆の子袋を投げつける利用者の方々。その表情が様々で、にこやかに豆まきを楽しむ方も、本気で退治してやろうと真剣な方、そしていつも通り冷静な方など。皆さん予想以上に投げる勢いが強く、鬼の顔や身体に見事に命中していました。たまたらず退散した先でも待ち構える利用者の集中砲火を浴び、最後にもコテンパンにやられていました。かわいそうな鬼たちを尻目に、おいしそうに豆を味わう皆さん、勝利の味をかみしめているようで頼もしかったです。



みんなに豆を投げられた鬼もクタクタ



目の前に鬼がきても動じません



社会福祉大会表彰

2月11日西和賀町社会福祉大会において、社会福祉事業貢献者としてやすらぎ会の近藤英三理事と、職員20名が表彰を受けました。代表として総務課課長の佐々木篤より謝辞を述べました。近藤英三理事においては当法人へのご指導・ご支援、そして町の社会福祉事業へ大きく寄与していただいたこと、心より感謝とお祝いを申し上げます。



ひなまつり喫茶

3月3日、ひなまつり喫茶がぶなの園の交流スペースにて行われました。なんと今回は、来場した際に、住民の方にくじを引いてもらい、その場でプレゼントがもらえるという楽しい企画が用意されています。さらに、厨房のパティシエさん(職員)が、実演でいちごのロールケーキを作ってくれたり、甘酒やお菓子、季節のスィーツなどが振舞われました。会場もお雛様が飾られ、着飾ったお内裏様とお雛様も登場。華やかな雰囲気の中、みなさん楽しまれました。景品が当たり「いいのもらったあ」と喜ばれる声も聞こえました。天気も穏やかで春の訪れを感じるひと時でした。



安心して利用してもらうために

デイサービスの送迎は利用者さんやご家族とお話する大事な時間です。朝の迎え時、体調確認は勿論ですがお家での様子や、ご家族の介護に関するお悩みを聞くのも大事な業務の一つです。夕方お家に送る際は、デイでどんな風に過ごされたか、普段と違う様子が見られたかなど細かな事ではありますが、ご家族に伝えています。伝えることでご家族からお話を伺え、早期の病院受診などに繋げることが出来たりしています。利用者さん本人は勿論ですが、ご家族にも笑顔で過ごしていただけるように、これからもお手伝いさせていただきます！

デイサービスぶなの園



ご家族さんと大事な情報共有

ほっとあたたか雪あかり

デイサービスがたくりの園

かたくりの園では、西和賀町の冬の風物詩と言われている「雪あかり」に今年も参加しました。当日は雪が降り続き除雪をしながらの作業となりました。施設前に沢山のスノーキャンドルを作り夕方に点灯すると幻想的な雰囲気になり、居住者の方々から「きれいだこと」「頑張ったな」との感想をいただきました。近くまで見に行く方もいらっしゃいました。また、今年は雪が多かったことから職員が中庭に巨大なクマの顔をイメージした雪像を作り、利用者様から「大きくてかわいいごどよ」と喜んでいただくことが出来ました。



立体感のある大きな白クマさん

■年度末を迎えるなか、気仙沼市の特別養護老人ホーム春園苑の視察の機会に恵まれた。今後の介護に求められる「質の確保」やICT化による業務の効率化と介護ロボット導入等による職員の負担軽減にかかる国のモデル事業に東北地区で唯一認められた法人であり、その検証が目的だった■施設は、従来型50床、短期入所10床、地域密着型ユニット20床と経営的にも理想的な規模で安定しており、法人設立から30年が経過したタイミングで、大規模改修に合わせモデル事業が採択され、厚い補助金に恵まれたと聞いた■気仙沼市は、震災による影響も大きかったところだが、施設自体は震災の影響も少なく、海沿いの景色が楽しめる風光明媚な場所に整備されており、利用者にも働く職員にとっても魅力的な場所だった■人口減少社会にある西和賀での介護事業の未来は決して明るくない。だからこそ10年先の備えが必要で、視察参加者にはいい刺激になったと思われる。

あたたかい善意を頂戴し厚くお礼申しあげます

令和7年1月1日～2月28日

【ご寄付】

・石川 隆男 様

【ご寄贈】

・沢内中学校 様

・吉田 一昭 様

・赤石 欣弥 様

【ボランティア等】

・沢内中学校の皆様



一面で紹介した沢内中学校の生徒が作ってくれたかわいいヘビの雪像。なんとそれがあの日、立派な大蛇になっていました！雪でできた鱗に大きな目と口、リアルな姿に思わず記念撮影。白い蛇は縁起が良いとされていますのでなんだか拝みたくありませんね！写真はやすらぎ会のホームページにも載せています。ぜひご覧ください！



金運がUPしそうな大蛇

あしあと

【1月】

6日 理事長年頭の挨拶

8日 入所検討委員会

25日 広報やすらぎ発行

29日 法人内部監査

31日 理事会

昨年の12月末から施設内で発生した新型コロナウイルス感染症の対応により、予定していた施設行事等が中止または延期となりました。

法人の主な動き

【2月】

3日 節分豆まき

4日 節分ちらし寿司出張理容

かたくりの園

第三者委員現場調査

出張理容

沢内中雪像作り

雪あかり

西和賀町社会福祉大会

在宅福祉課第三者評価委員会

出張理容

特養第三者評価委員会

かたくりの園

第三者評価委員会

やすらぎ会ホームページ
最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪



<https://yasuragikai.com/>

編集後記

昨日まで道路に雪が無かったのに、今朝は雪が降って積もっていました。スニーカーを出したのにまた長靴へ逆戻りです。今年は雪が多いですね。あたたかい春が待ち遠しいです。

やすらぎ会広報委員会

照井 彩香 山鼻 恵
高橋 正広 柴田 望

- ☐ 特別養護老人ホーム ぶなの園
- ☐ デイサービスセンター ぶなの園
- ☐ 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- ☐ 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389

【発行・編集】 社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会